

地震・津波への対応

香川県立善通寺第一高等学校

I 自宅にいるとき

地震発生 → 自分の身を守る → 火の始末・出火防止 → 家族の安全確保 → 正しい情報収集（テレビ・ラジオなどで）・ライフラインの確認（電気・水道・電話・公共交通機関など）

海岸部では、津波の襲来を想定し、急いで安全な場所に避難することが必要な場合があります。避難指示、避難勧告、避難準備勧告等の指示にも留意して行動してください。

[授業日における対応]

非常に強い地震のとき（震度6弱程度以上）

- ・学校は臨時休業になる可能性が高いので待機する。
- ・可能な限り、学級担任とメール・電話等で連絡を取り合ってください。

強い地震のとき（震度5弱・5強程度）

- ・場所によっては、非常に危険な場合があります。被害の状況によっては、無理をしないで待機してください。この場合、学校か学級担任に連絡してください。
- ・午前10時までに、公共交通機関が動いたり、通学路の安全が確認された場合は、学校へ登校してください。

やや強い地震のとき（震度4程度以下）

- ・場所によっては、危険な場合があります。その際は、待機してください。この場合、学校か学級担任に連絡してください。
- ・午前10時までに、公共交通機関が動いたり、通学路の安全が確認された場合は、学校へ登校してください。

II 登下校中

自転車・徒歩通学者

各自で安全な場所へ避難してください。

- ・ブロック塀・自動販売機等、転倒の可能性がある物から離れる。
- ・頭部を保護し、安全な場所で身を伏せる。
- ・崖下・川岸・橋の上・ガス漏れ箇所からすみやかに遠ざかる。
- ・沿岸部やため池の近くでは、高台や頑丈な建物の3階以上に避難する。

各自、平日頃より自分の通学経路について、危険箇所と避難場所等の確認をしておいてください。なお、登校中の場合は安全等の状況を十分確認して、可能な場合は登校してください。

JR等公共交通機関による通学者

- ・保護者に連絡するとともに、乗務員・駅員の指示に従ってください。

III 学校にいるとき

震度5以上の地震が発生し、電話やメールでの連絡ができない状況となった場合、生徒は学校で保護しますので、保護者の方は道路等の安全確認の後にお迎えをお願いします。